

# 出前授業「租税教室」

10月30日(火)、LHRの時間を使って、中津川法人会青年部会の方々に租税教室を行っていただき、1年D組と1年E組が税を通して「平等と公平」について考えました。



税金の種類や使い道について説明を聞き、クラス混合の6人グループに分かれてグループディスカッションを行いました。

## グループディスカッションの題目

「100人の村があります。村に橋を架ける必要があり、500万円の建設費がかかります。住人からどうやって500万円を集めますか？」



各グループの6人が村長・子ども・お年寄り・アルバイト・会社員・社長になりきり、それぞれの立場から意見を出し合い、まとめた意見を発表しました。

最初は一人5万円ずつ集める方法(均等割)がいいと思いましたが、子どもやお年寄りにとって5万円を払うのは厳しいということで、橋を渡った人から通行料を集める方法(受益者負担)に決めました。

～生徒の感想より～

立場によって意見が違って、いろいろな人の意見を聞くことが大切だと改めて分かりました。「平等」と「公平」は似ている言葉だと思っていたけど、今回の教室で違いについて考えることができました。

